

「国連ESDの10年」2005-15

Education for Sustainable Development

2005年 国内NGOの提言を受け日本政府
が提案して国連総会で採択

UNESCOがESDの推進機関となる

2015年 ESDユネスコ世界会議
(名古屋、岡山)



2014/11/10 08:58

イリーナ・ボコバ ユネスコ事務局長
と各国首脳



開会式：皇太子スピーチ

ESDからGAPへ

「国連ESDの10年」の終了



「ESD Global Action Plan」

ユネスコ総会で採択

ESDを引き続き推進していく

ESDとは

現在、世界には、環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題があります。

ESDとは、地球に存在する人間を含めた命ある生物が、遠い未来までその営みを続けていくために、これらの課題を自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくこと(think globally, act locally)を身につけ、課題解決につながる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。
(文部科学省HP)

ESDは幅広い学習を含む(文科省HP)



持続可能な社会とは

文化的多様性
(いろいろな文化、価値観がある)

世代間の公平
(次代に残す地球
のことを考えよう)

人間の尊厳

地域間の公平
(地球社会の一人
として考えよう)

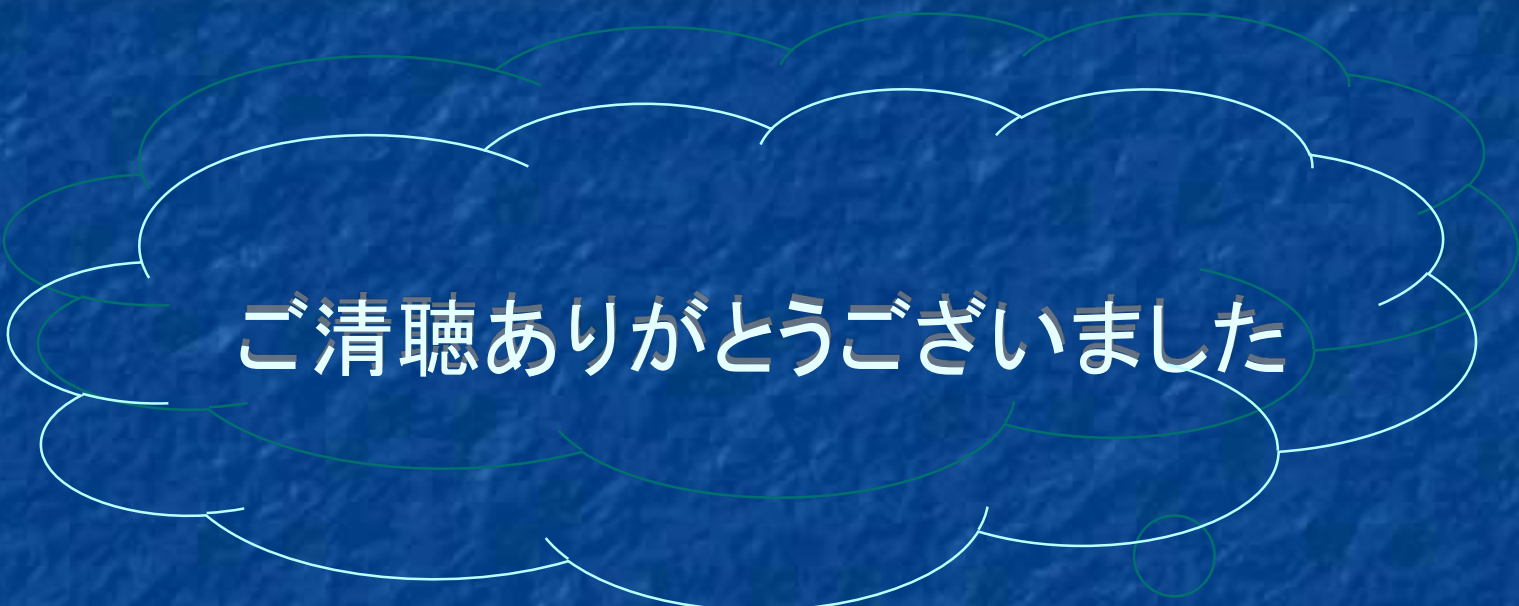
人間は自然の一部

ESDではぐくむ力

- 持続可能な開発に関する**価値観**
(人間の尊重、多様性の尊重、
非排他性、機会均等、環境の尊重等)
- 批判的な**思考力**(問題や現象の背景の理解
多面的かつ総合的なものの見方)
- 代替案の提案力
- データや情報の**分析能力**
- **コミュニケーション能力**

ESD（持続可能な開発のための教育）は

- 21世紀を生きるために必要な教育
- 未来の世代のために必要な教育
- 地球社会の持続的発展に必要な教育



ご清聴ありがとうございました

